

ナショナルガス給湯機付ふろがま

屋内用

品 番	G J - 2 4 T 1 F
	G J - 2 4 T 2 F

工事説明書 (折り込み)

- 別添の工事説明書の品番は、G J - 2 4 T 1 R ・ G J - 2 4 T 2 R となっていますが、G J - 2 4 T 1 F は G J - 2 4 T 1 R と、G J - 2 4 T 2 F は G J - 2 4 T 2 R と共用です。
- 但し下記の箇所は一部内容が異なっておりますので、折り込みをご参照ください。

設置前のご注意

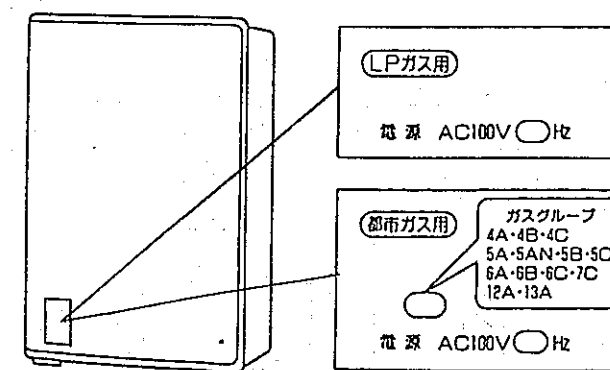
■ 設置する器具の確認

(1) 使用ガスに関する事項

設置する器具が使用するガス(ガスグループ)に適合していることを確認してください。

(2) 使用電源に関する事項

器体(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。



(3) パナソーラへの接続について

- G J - 2 4 T 1 F はソーラ(太陽熱温水)システムに接続できません。G J - 2 4 T 2 F は、ソーラ(太陽熱温水)システムにそのままで接続可能です。

設置前のご注意

■ 開こん

GJ-24T1R、T2Rから以下の部品が同こんされておられません。

アース棒

また、下表の部品が同こんされております。

区分	部品名	個数	形状	区分	部品名	個数	形状
給排気トップ	給気接続筒	1		給排気トップ	排気ダンパ	1	
	排気接続筒	1			M4ねじ	8	

■ 設置場所の確認

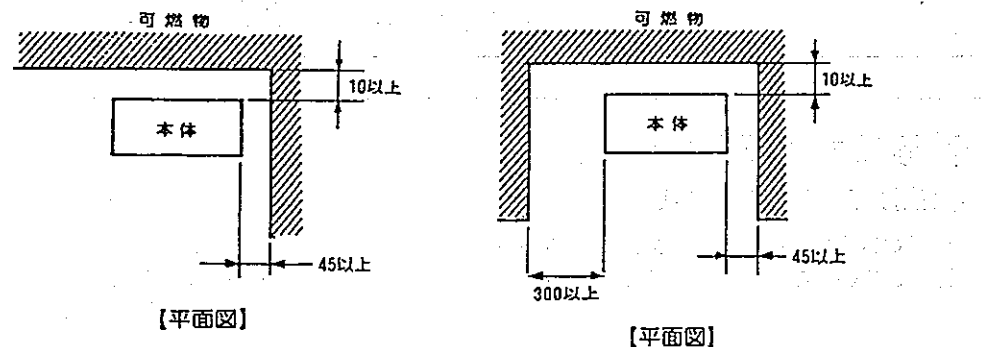
この器具は屋外には設置できません。

設置場所を決められるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

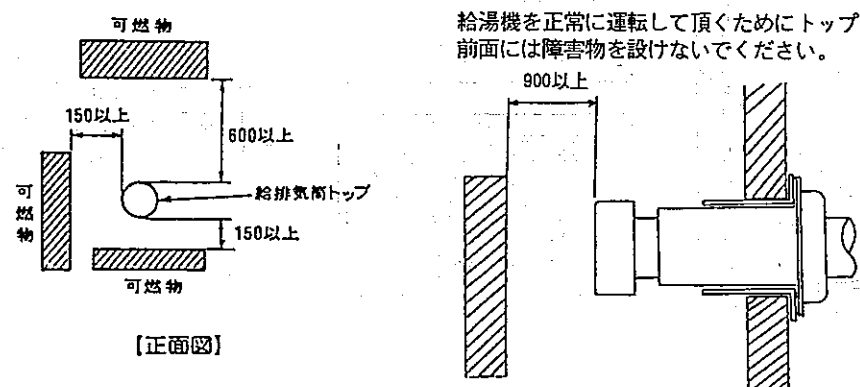
(1) 火災予防について

- ガソリン、ベンジン、接着剤など引火性の危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 洗濯の物干し場など燃えやすいもののあるところには設置しないでください。
- 器具を設置する場所の周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置してください。

〈本体〉

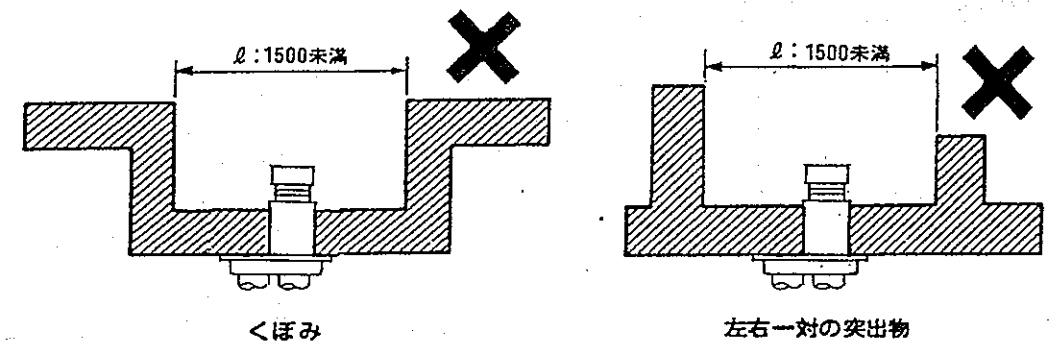


〈給排気筒トップ〉



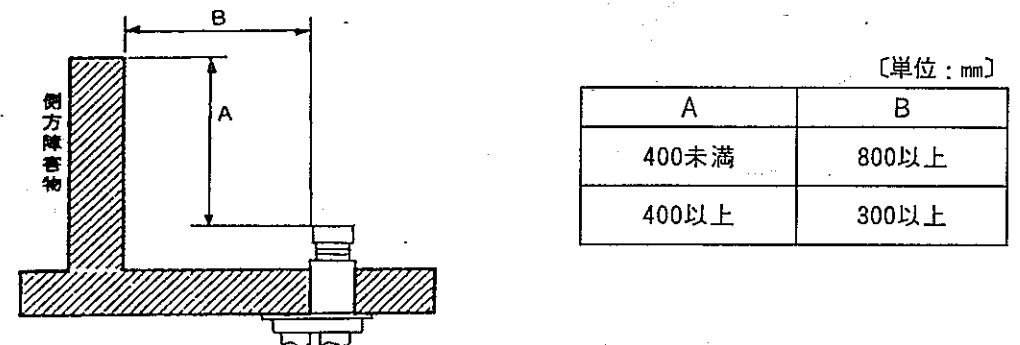
(2) 給排気について

- 給排気筒トップは必ず十分に開放された屋外に通じるよう設置してください。
- 給排気筒トップはくぼみなど気流の乱れる場所に設置しないでください。

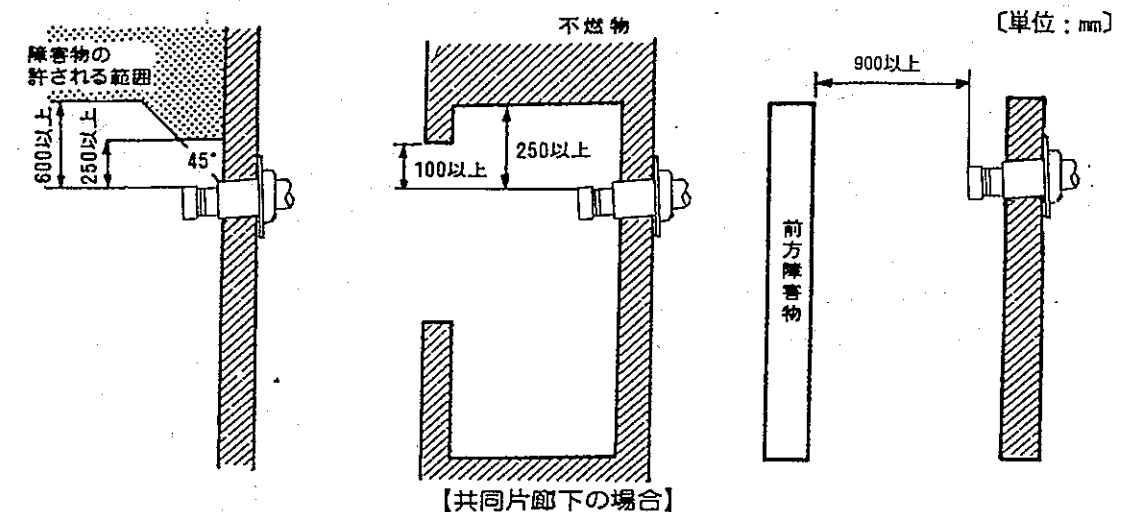


ただし、 $\phi \geq 1500\text{mm}$ ならば1つ1つを障害物として検討する。

- 給排気筒トップは側方に気流を乱す障害物のない場所に設置してください。



- 給排気筒トップは上方・前方に燃焼上有害な突出物のない場所に設置してください。

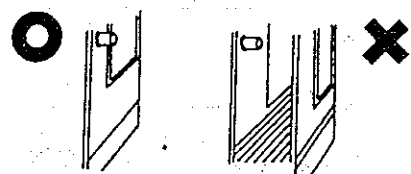


設置前のご注意

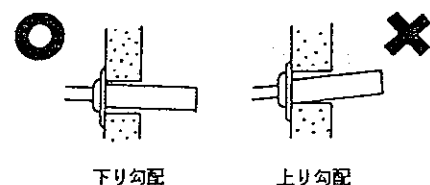
給排気筒及び給排気筒トップ設置上の注意点

次のような設置は事故やトラブルのもとですから行なわないでください。

①給排気筒トップを屋内に取り付ける

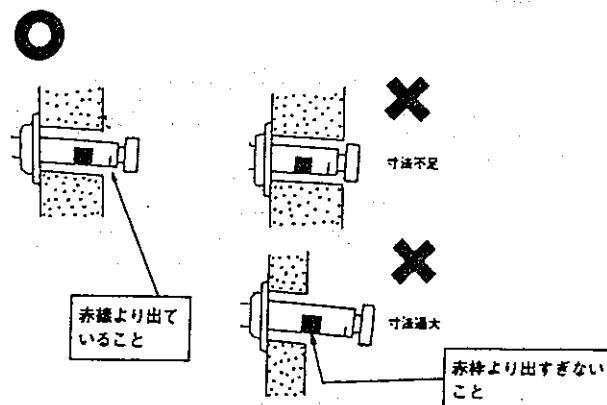


②給排気筒トップが上がり勾配

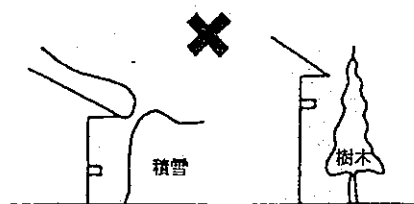


処置：必ず下り勾配にする。

③給排気筒トップの突出寸法過不足



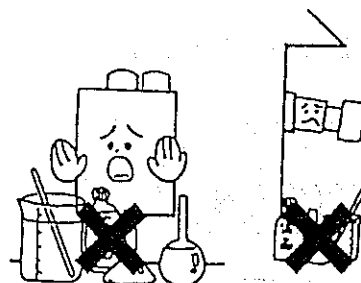
④給排気筒トップ先端の障害物



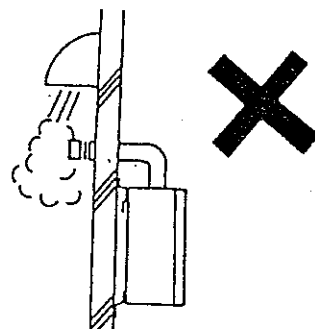
(3)設置場所のふん囲気について

・業務用薬品を使用する場所はさけてください。

美容院・クリーニング店・工場などで使用される業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所には設置しないでください。器具を急速に腐食させますのでさけてください。

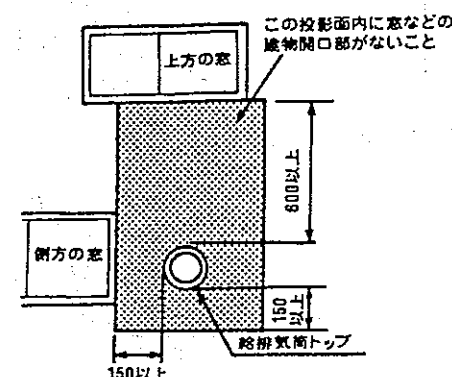


・換気扇、レンジフードなどからの風が器具の給排気に影響を与える場所への設置はしないでください。

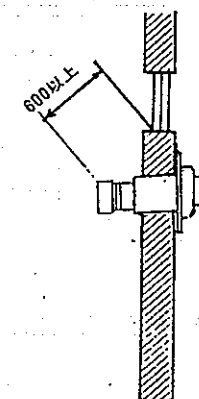


(4)設置場所の周辺について

- 給排気筒トップはできる限り周辺に窓のない場所に設置してください。もし、上方に窓のある場合は600mm以上、側方に窓のある場合は150mm以上離してください。(室内に排気ガスが流入するのを防ぐため)



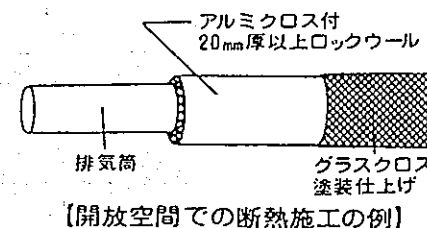
〔単位：mm〕



(5)給排気筒延長時の条件

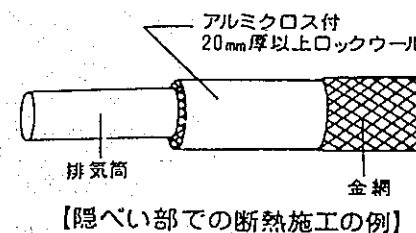
- 排気筒は、必ず断熱施工してください。

① 開放空間の場合



ロックウール保温筒1号(JIS A9504)
建設大臣認定不燃 第1022号
熱伝導率 0.037kcal/h・m・℃
密度 0.15g/cm³
安全使用温度 400℃

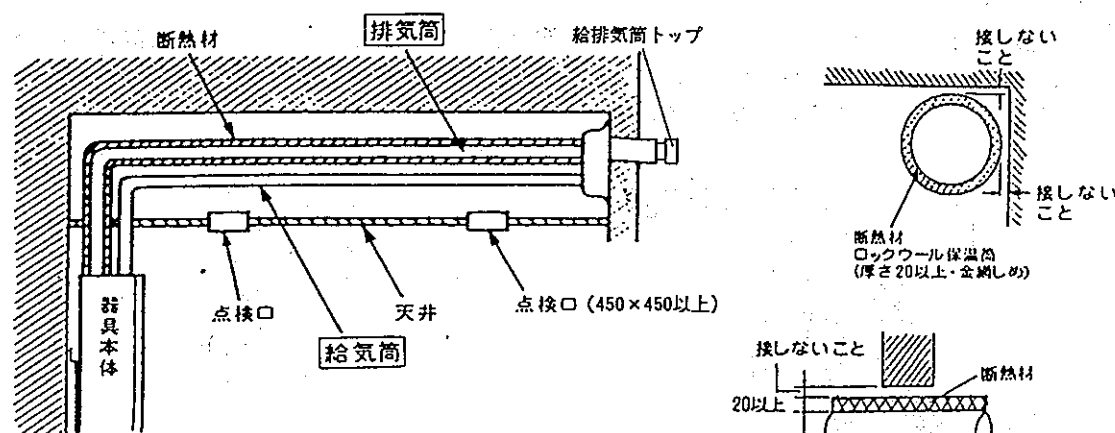
② 隠ぺい空間の場合



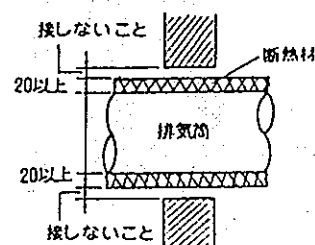
アルミクロス付ロックウールを締め付けるものとして、金網のほか、番線締めなどでもよい。

設置前のご注意

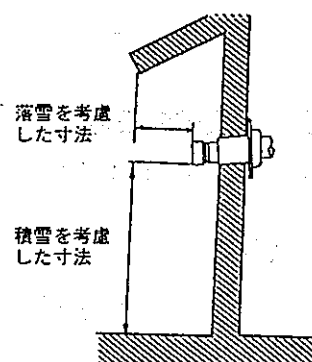
- 給排気筒を天井裏などの隠ぺい部に設ける場合は、点検口を設け、また修理や取り替えに必要な範囲の隠ぺい部材の取りはずしができるようにしてください。 [単位: mm]



- 排気筒が壁などを貫通する場合は、壁に接しないようにしてください。



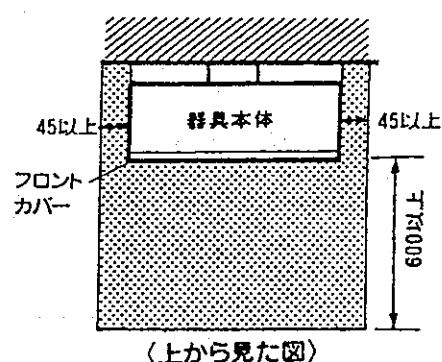
- 積雪が予想される場所に設置する場合、給排気トップの周囲は積雪・落雪を考慮した処置を施してください。



[単位: mm]

(6) 保守・点検のためのスペース

- 器具の点検・修理ができるように十分なスペースを確保してください。器具前方は600mm以上の空間を設けてください。また側方は両側とも45mm以上の空間を設けてください。
- 器具下方にも、配管工事および水抜き操作のできる十分なスペースを確保してください。



(上から見た図)

- (7) その他、地域によって火災予防条例などに規制される項目がある場合は、その条例に従って設置してください。

- (8) この器具は燃焼音については十分配慮していますが、居間など静かな部屋では気になる場合がありますので居間などへの設置はできるだけさけてください。

器具の設置

■ 設置場所

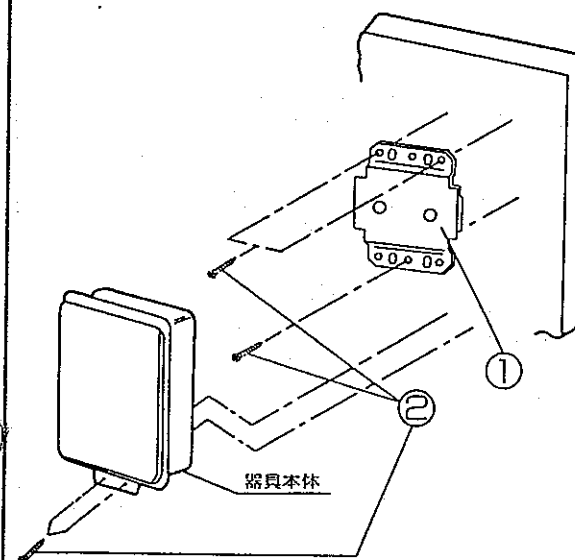
- 器具本体：室内に設置してください。
- 給排気筒トップ：十分に開放された屋外に通じるように設置してください。

■ 本体の設置

- この器具を設置する壁には、約37kg(器具満水時)に重量が加わりますので十分な強度がない場合は補強工事をしてください。
- 必ず垂直な壁に取り付けてください。

【取り付け方法】

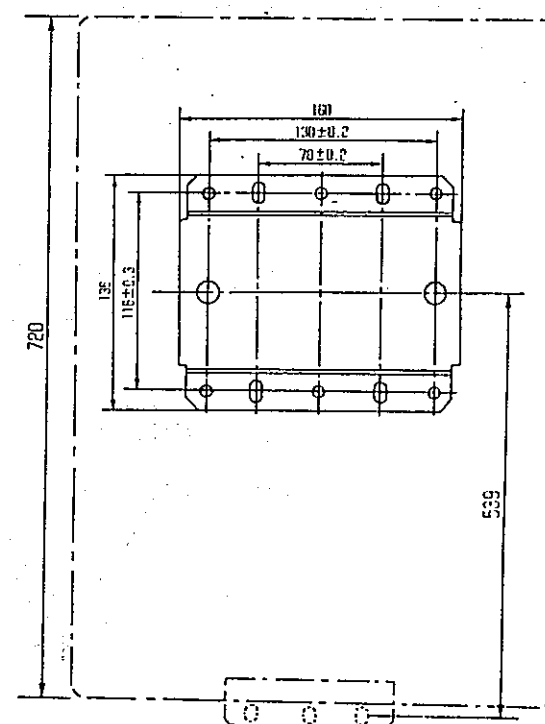
- 壁掛金具を壁面に②木ねじ上2本下1本で取り付ける。
- 器具本体を①壁掛金具にのせ、器具の下部を②木ねじ2本で固定する。



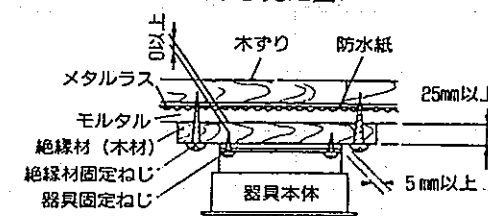
- メタルラス張りなどの壁に器具を取り付ける場合は、器具とメタルラスとは電氣的に接続しないように右図のような壁工事をしてください。

電気設備技術基準182条により義務づけられています。

・壁掛金具設置図 [単位: mm]



<上から見た図>



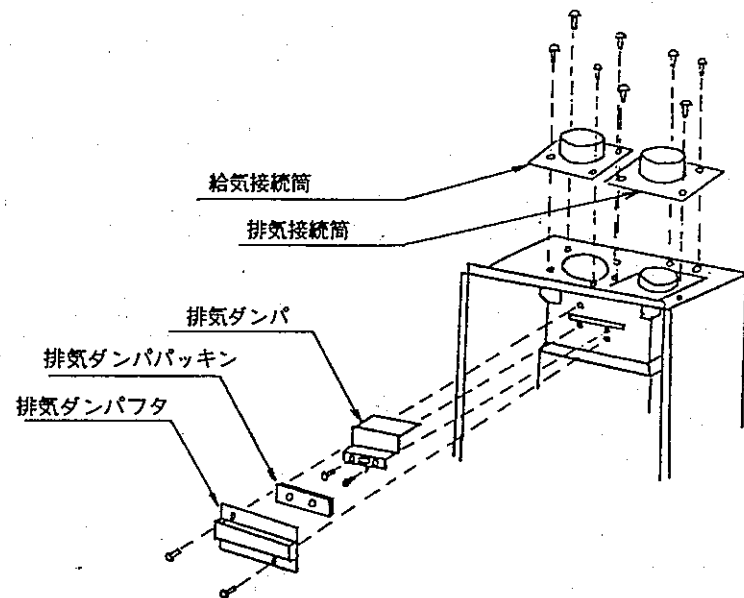
給排気筒工事

■ 排気ダンパ

- 給排気筒を器具本体に接続する前に、給気接続筒、排気接続筒および排気ダンパの取り付けを行ってください。
- 器具を良好な状態でご使用いただくために、給排気筒の延長長ささと曲り数に応じて排気ダンパ(同こん部品)を使用してください。

＜取付手順＞

- 給気接続筒(同こん部品)、排気接続筒(同こん部品)を下図のようにビス8本(同こん部品)でビス止めしてください。
- 給排気延長長ささと曲り数によって、下表より排気ダンパ(同こん部品)を選定してください。
- 排気ダンパフタのビス2本と、排気ダンパ(同こん部品)取付け部のビス2本を取り外してください。
- 下図のように排気ダンパ(同こん部品)をビス2本でビス止めした後、排気ダンパパッキン、排気ダンパフタをビス2本でビス止めしてください。



〔排気ダンパ選定表〕

〔単位：mm〕

曲り数	延長長さ	7～6m		6～5m		5～4m		4～3m		3～2m		2～1m	
		以上	未満	以上	未満	以上	未満	以上	未満	以上	未満	以上	未満
3 曲り		なし		なし		なし		なし		なし		なし	
2 曲り		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
1 曲り		あり		あり		あり		あり		あり		あり	

〔注〕 給排気延長長さ 最大延長7m3曲がりまで

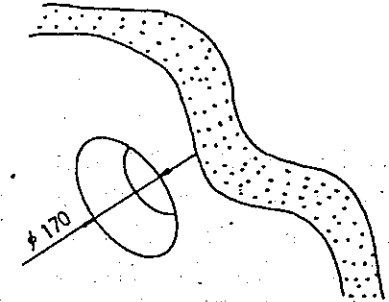
器具本体は、出荷時には排気ダンパなしの状態になっています。

■ 給排気筒トップ取付手順

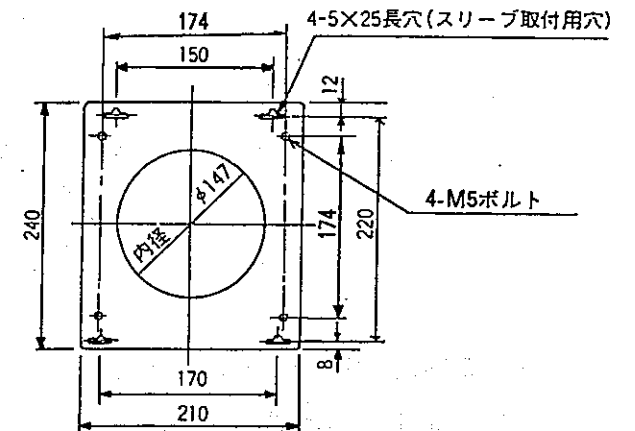
詳しくは給排気筒トップの工事説明書をお読みください。

- 給排気筒トップは十分に開放された屋外に通じるように設置してください。

- 給排気筒トップの位置をきめ、壁面にφ170の穴をあけてください。

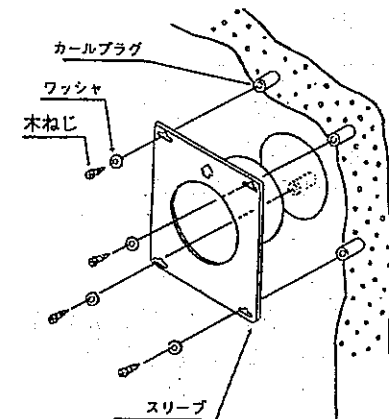
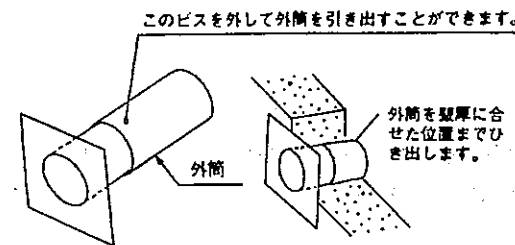


- スリーブを取り付ける穴をあけてください。(カールプラグ下穴径φ7.2mm)



- スリーブを付属の木ねじとワッシャ及びカールプラグを使用して取り付けてください。

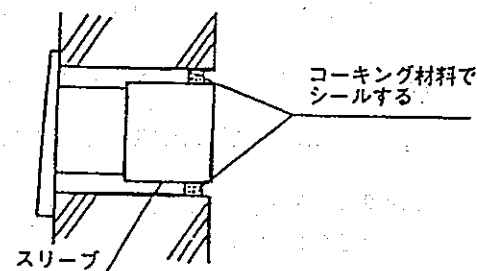
※スリーブは取り付け前に壁厚に応じて長さを調節しておいてください。



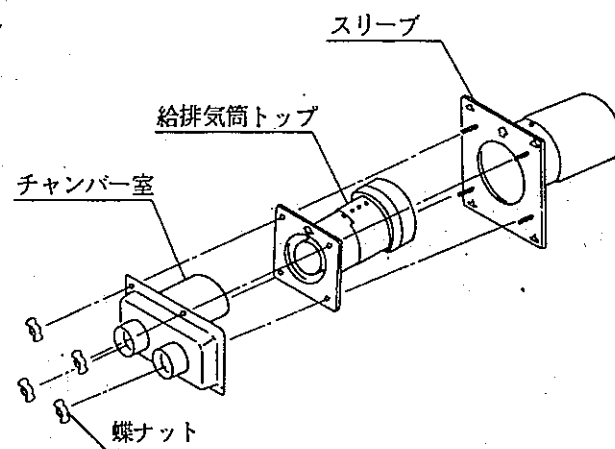
※スリーブはⒺの表示を上方とし、取り付けてください。

給排気筒工事

- ④スリーブと壁穴との間隔を、コーキング材等で確実にシールしてください。



- ⑤給排気筒トップの長さを(注2)のように調節した後、スリーブのボルト部に給排気筒トップを差し込み、次にチャンバー室を差し込んで付属の蝶ナットで確実に固定してください。

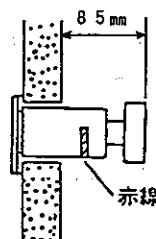


(注1) 給排気筒トップの上下を間違わないようにします。↑の表示をしている方を必ず上にします。

(注2) 給排気筒トップは必ず屋外に出るように設置してください。

※給排気筒トップの壁からの突出しは給排気筒トップに貼り付いているラベルの赤線が出るようにしてください。

- 赤線の位置が壁の中にある場合は燃焼不良などの原因になります。
- 標準飛出し寸法は85mmです。

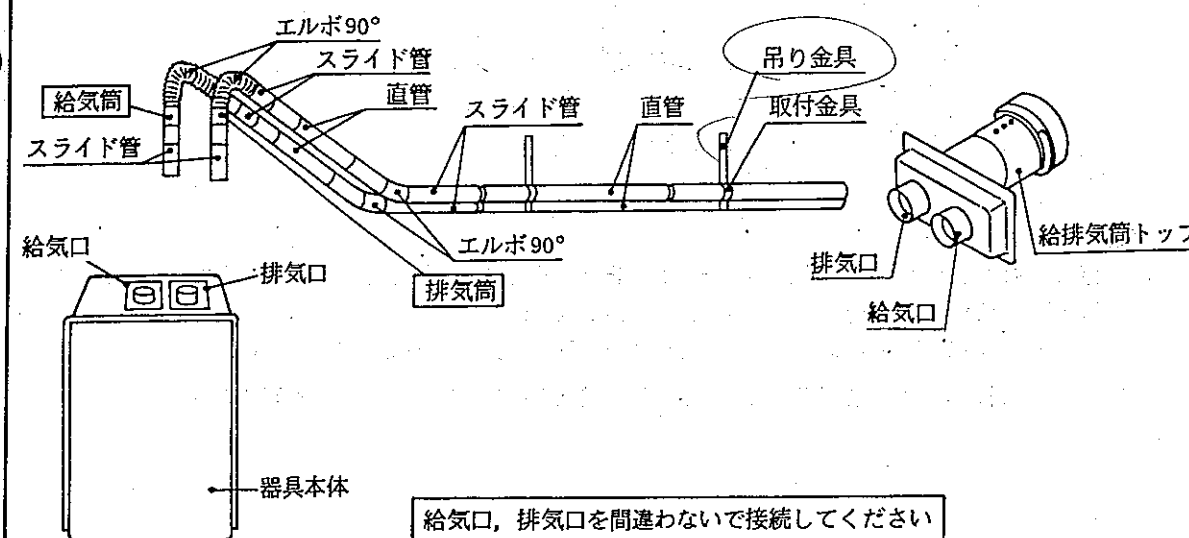


- (注3) (1)給排気筒には、ガス機器用の給排気筒(Oリングシールタイプ)を使用してください。
(2)給排気筒には、防火ダンパー等は取り付けないでください。

給排気筒(給気筒・排気筒)仕様

給排気筒延長距離		7m・3曲り以下	
給排気筒径 (2本管)	給気筒	φ100	同一工事部材
	排気筒	φ100	
材 質		S U S 304	

給排気筒延長工事



給気口、排気口を間違わないで接続してください
(間違えますと、不完全燃焼となります)

- 給排気筒の工事部材は指定のもの(φ100mm用)を使用してください。
- 給排気筒は1/50以上の先下がり勾配となるようにしてください。

工事部材選定の基本

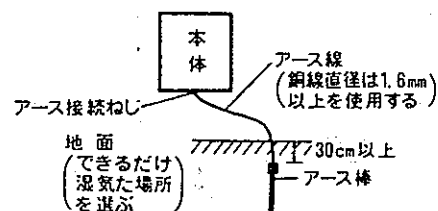
- ①直線部……直管と微調整のできるスライド管とを組み合わせます。
- ②曲り部……水平部分に曲りがある場合は、エルボを使用してください。
- ③立ち下げ部……水平部分から本体への立ち下げ部には、エルボ90°を使用し、本体の位置ずれに対処します。
- ④本体回り……本体への接続は、直管とスライド管とを組み合わせ、本体のメンテナンスを容易にします。
- ⑤固定……給排気筒の固定は取付金具で行ないます。

電気配線工事

■ 電源

使用電源の確認

- この器具にはAC100Vの電源が必要です。
- 器具本体を設置する場所にアース端子付コンセントがない場合、または、あっても適切でない(位置・容量など)の場合には、新設・移設または交換などが必要です。
〔参考〕電源コードの長さは約2.3mです。
- 電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。
- アース端子付コンセントでない場合には次の方法で必ずアースしてください。



〔ご注意〕

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路または漏電安全装置を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。(法令などで禁止されています。)
- 電気設備基準に基づき、必ず電気工事士による第3種接地工事を行なってください。
- アース端子付コンセントを利用される場合には、接地抵抗値(100Ω以下)をご確認ください。

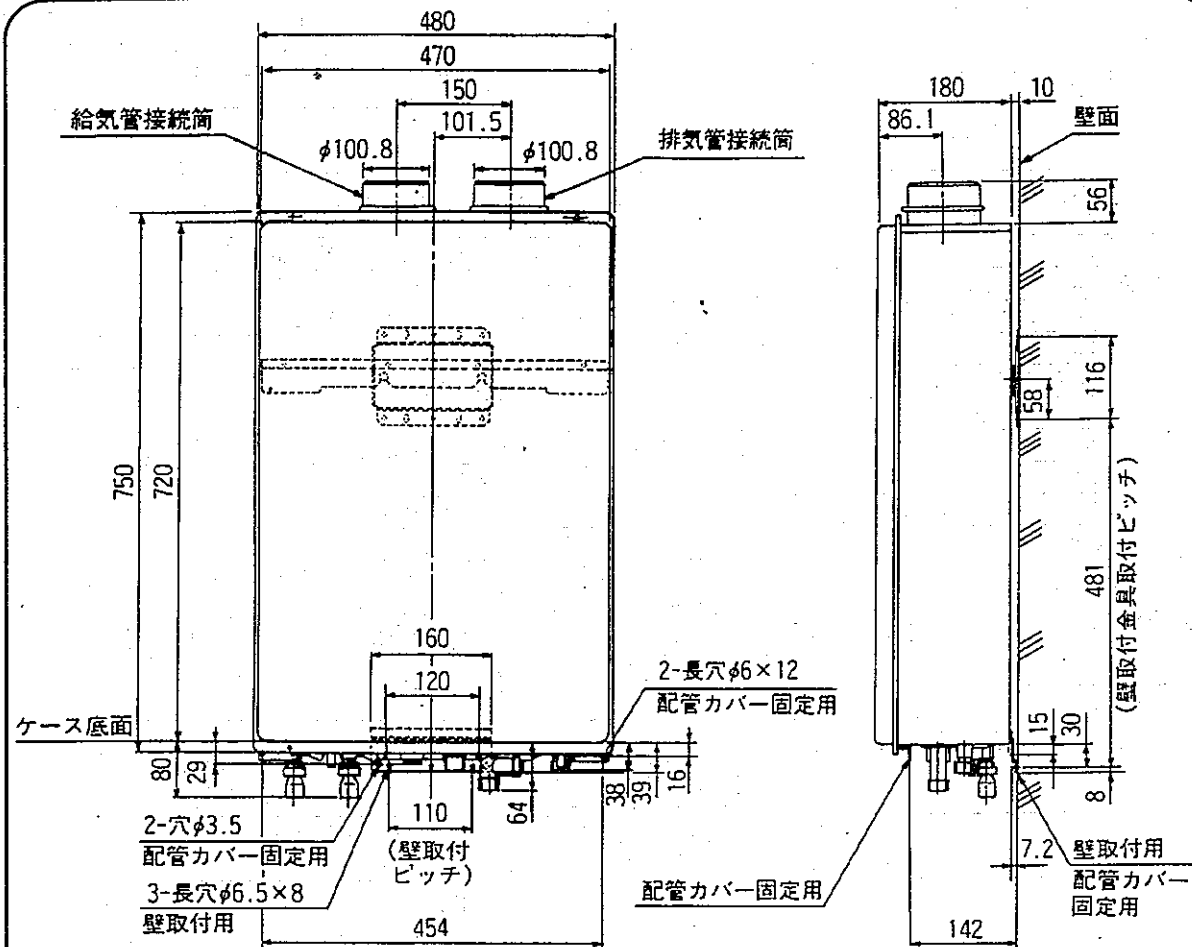
仕様

品名		ガス給湯機付ふろがま	
品番		GJ-24T1F	GJ-24T2F
種類	給湯方式	先止め式	
	設置・給排気方式	屋内用・強制給排気方式	
点	火方式	放電点火式	
	使用水圧	0.7kg/cm ² 以上	
水	作動水圧	0.15kg/cm ²	
	本体	高さ750mm×幅480mm×奥行180mm	
外形寸法	ふろリモコン	高さ96mm×幅198mm×奥行20mm	
	メインリモコン	高さ198mm×幅96mm×奥行20mm	
重	本体	36.5kg	35.5kg
	ふろリモコン	0.3kg	
接	メインリモコン	0.3kg	
	ガス	LPガス用15A(R ¹ / ₂)・都市ガス用20A(R ³ / ₄)	
給	給湯	20A(R ³ / ₄)	
	給湯	20A(R ³ / ₄)	
電	電気関係	往き・戻り15A(R ¹ / ₂)	
	消費電力	AC100V 50Hz専用・60Hz専用	
湯	湯温制御方式	50Hz 326W(最大燃焼時150W+凍結予防ヒータ176W) 60Hz 356W(最大燃焼時180W+凍結予防ヒータ176W)	
	標準浴そう	50Hz 262W(最大燃焼時150W+凍結予防ヒータ112W) 60Hz 292W(最大燃焼時180W+凍結予防ヒータ112W)	
安	安全装置	(リモコンスイッチ「切」のとき: 約10W)	
	付属品	電子式ガス比例制御方式	
別	販売品	容量: 200ℓ~300ℓ(1人~2人用)	
	安全装置	立消え安全装置・空だき安全装置(ふろ)・残火安全装置(給湯) 過熱防止装置・過圧防止安全装置・誘導電保護装置・漏電安全装置	
付	属品	メインリモコン(一式)・ふろリモコン(一式)・溶接継手パイプ(一式)・壁掛金具・ホース(GJ-24T2Fのみ)・給排気接続筒(一式)・排気ダンパー	
	別販売品	増設シャワーリモコン・ふろリモコン埋込みボックス・ふろリモコン用厚壁スリーブ・ふろ接続アダプター(S.S.L.L.L.S.F.S.F.L.L.F.L.F.L)・ユニットバス取付金具(Sロー付)・ユニットバス取付金具(Lロー付)・フレア継手・漏れ検査治具・厚肉浴槽用ふろ接続アダプター・ツインチューブ・2心ケーブル(GW-P102P-50)・配管カバーセット・給排気筒トップ(壁厚90~130mm, 130~210mm, 210~370mm, 370~690mm対応)・給排気部材: エルボ(90度, 45度, 30度)・直管(300mm, 600mm, 900mm)・スライド管(200mm, 300mm, 500mm)・ストップリング・吊り金具	

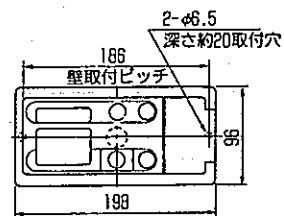
使用ガス 使用ガスグループ		型 式 名	1 時 間 当 た り の ガ ス 消 費 量				出湯能力(ℓ/分)(水圧: 1kgf/cm時)	
			ふろがま	給湯能力		同時使用	能力大	
				大	小(参考値)		水圧+25℃ 上 昇	水圧+40℃ 上 昇
都 市 ガ ス 用	4A	G J -24T1F G J -24T2F						
	4B							
	4C							
	5A							
	5A N							
	5B							
	5C							
	6A							
	6B							
	6C							
	7C							
	12A		11,200kcal/h	42,000kcal/h	4,380kcal/h	48,500kcal/h	(22.3)	13.9
	13A		12,000kcal/h	45,000kcal/h	4,700kcal/h	52,000kcal/h	(24.0)	15.0
L Pガス用			1.0kg/h	3.75kg/h	0.392kg/h	4.33kg/h	(24.0)	15.0

● 出湯能力の()内は、水温+25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

外形寸法図



風呂コントローラ



メインコントローラ

